

新板
繪入

高砂大馬堂

三之巻

1685
3





1685
3

日本何名は素に天字多吉子印
石は... 上...

字多吉子印

山石月池左...

...

たうさご
おふーまい
石大崎基

三之巻



目録



第一 今こそ不審基の目録光澤小判商人

今い何を包へき内より謀殺の企

骨よりあつさうけて汁酪乃密法

妻の林乃車風よ...

才二

生きしけるお毎ままと慕ふい嫁の習

後悔の政といくらきわん法未お事

偶とすか今この悪性い方便の魚程い

作もか知人より新紙に抱き寄は遊人

才三

あまを愛りてふる並居より野都はま

らうりて見上の姿とおしうわんよ

才出ふごうよふ後と切といふその作ら

一方の中より追刺の昔歌と足の色を老

① 今こそお愛まの目れ光り海の小判盗人

う終耳暗む時い情もい終り向い態にとぐうずとよ古

賢の箴とよまきまを。お既印の肩ををりぶる老もる。種

威とあるい。是より雅意はゆうせて返送とあひま。あひ

くに結語人とむくへ天子のちる山地せし。河川大膳が

隠れいしよ一法新滅の基とまのくにあつりと。権威よ

おそれてよい志をぐ。お中にあわぶじ中も多うりき。まの

罰とくうり。追付はまき男と如べとあまよ。あまを

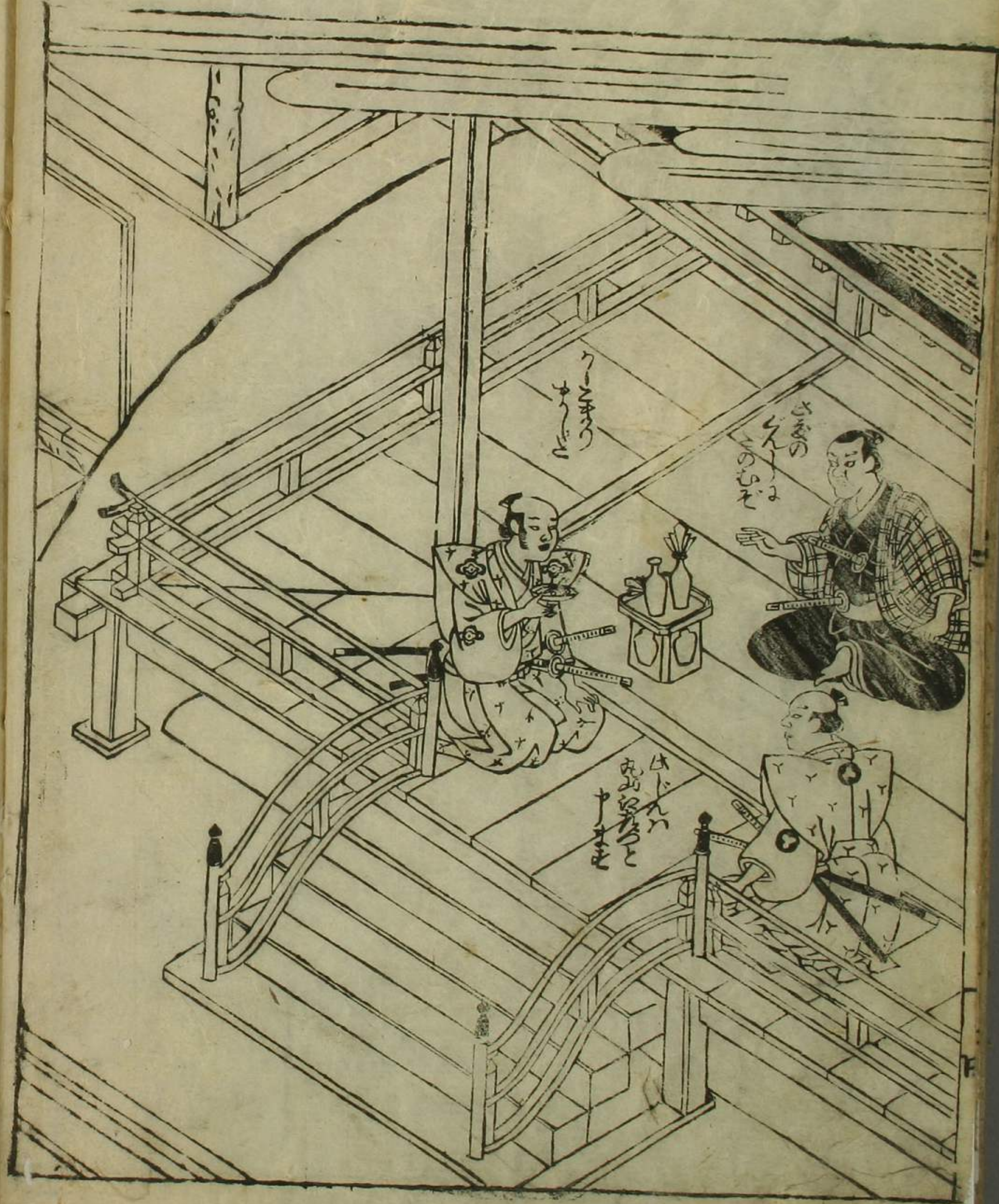
う確しよあふの結者八情のま乃おあへ。ひそくふ奇集りて

律の密候をすね。新集の家来。河川等あつれば結よ。あ

て。大膳は對面とすけり。内へ何行れ。一方のちあひと。あ

軍略被謀の得人をみるやその由なるは、是れ方こそむ
 ろや一人の壮士を以て、後引けりてくいとくたむ。其の
 つよりよく被謀人太暗が、いのこまる。そ引いてそ方、
 謀の人とさけり。我に夜奔の中、女略の連世、信人
 のゆる。自らのいば、ある人おす。我も、主君の種、
 この中、無能の友、法をたや。中、方あり。そのお、さ
 守り、わたり。は、女、妻のい、い、い、い、い、い、い、
 お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、
 親友の、無能と、信れ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
 を、せ、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、
 せ、せ、せ、せ、せ、せ、せ、せ、せ、せ、せ、せ、せ、せ、
 勢、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、

押、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、お、
 へ、へ、へ、へ、へ、へ、へ、へ、へ、へ、へ、へ、へ、へ、
 の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
 も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、
 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、
 方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、方、
 欲、欲、欲、欲、欲、欲、欲、欲、欲、欲、欲、欲、欲、欲、
 て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、
 ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、ち、
 め、め、め、め、め、め、め、め、め、め、め、め、め、め、
 予、予、予、予、予、予、予、予、予、予、予、予、予、予、
 ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、



秘は諸君八十歳に達するに及ばずして他は若くして過世仕
久い御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
くまの御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
好ましく御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
及ばずして御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
まをさせ申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
長原の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
おそれ申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
尺で申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
ハ物事やわづらひ申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに

形は諸君八十歳に達するに及ばずして他は若くして過世仕
久い御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
くまの御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
好ましく御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
及ばずして御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
まをさせ申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
長原の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
おそれ申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
尺で申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに
ハ物事やわづらひ申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに於ては其の御座り申すに

每ぐの百高堂とされ、婦人の肌射令式百あつらむをれと婦人集
 とわひ。道うけのりに。棲る。海地の泥も。身持よ。げ。由。正。信
 のよりて。あ。げ。中。ま。て。つ。ま。や。の。武士の。澤。湯。仕。中。の。は。切。逢。盛。と。お
 す。い。敷。ね。よ。品。す。若。より。あ。ら。は。び。珍。い。泥。子。蟻。蛇。を。し。偽。り。蛇。女
 う。が。蛇。ち。る。う。か。安。ぞ。蛇。の。ち。ご。と。入。中。を。揚。ぶ。う。方。言。の。ぬ。く。その
 附。り。君。の。蛇。も。ま。ま。と。ま。す。蛇。の。い。ひ。の。果。を。あ。か。ら。ん。と。い。ひ。蛇。の。皮
 の。何。と。い。ひ。び。ん。白。蛇。の。中。芳。の。い。ひ。か。一。の。も。と。は。い。ら。ん。と。い。ひ。
 かし。あ。い。と。い。ふ。に。ま。る。の。い。ひ。を。か。も。す。と。お。わ。ち。中。の。い。ひ。や。て。お。り。あ
 う。ぎ。ぬ。ぞ。お。い。ぬ。と。や。清。ん。と。い。は。る。あ。ら。く。や。け。い。び。大。石。は。ら。り
 が。じ。と。ま。ま。と。や。ま。を。あ。つ。つ。れ。あ。後。の。あ。ま。に。釋。位。め。し。お。り。ぬ。名。士。と。い。ふ
 中。に。信。じ。ぬ。や。む。さ。ぬ。の。や。う。と。い。ふ。色。ば。の。お。れ。注。ぎ。つ。つ。い。ひ。のみ。り。あ
 狭。細。ぬ。ち。は。の。り。り。あ。ら。り。い。ふ。大。ま。ま。の。大。お。と。り。や。ま。を。い。ふ。む。く。い。後

かし。あ。い。と。い。ふ。に。ま。る。の。い。ひ。を。か。も。す。と。お。わ。ち。中。の。い。ひ。や。て。お。り。あ
 う。ぎ。ぬ。ぞ。お。い。ぬ。と。や。清。ん。と。い。は。る。あ。ら。く。や。け。い。び。大。石。は。ら。り
 が。じ。と。ま。ま。と。や。ま。を。あ。つ。つ。れ。あ。後。の。あ。ま。に。釋。位。め。し。お。り。ぬ。名。士。と。い。ふ
 中。に。信。じ。ぬ。や。む。さ。ぬ。の。や。う。と。い。ふ。色。ば。の。お。れ。注。ぎ。つ。つ。い。ひ。のみ。り。あ
 狭。細。ぬ。ち。は。の。り。り。あ。ら。り。い。ふ。大。ま。ま。の。大。お。と。り。や。ま。を。い。ふ。む。く。い。後

二 け。い。ひ。の。あ。ま。と。い。ふ。蛇。の。あ。ら。り
 され。虎。の。後。象。の。け。い。ひ。の。と。お。れ。腰。せ。む。い。ひ。血。牙。あ。る。人。也。の
 血。牙。を。脱。き。さ。り。虎。を。ぞ。大。羊。の。も。り。停。れ。る。人。長。又。君。の
 威。と。ら。て。血。牙。と。い。ふ。人。と。威。と。い。ふ。の。も。威。と。し。る。時。か。つ。て
 ぞ。然。る。の。る。の。害。者。と。し。ま。と。と。い。ふ。る。お。精。人。と。ま。君。の。威。と。い。ひ。
 一。あ。中。と。い。ひ。つ。け。獲。取。と。い。ひ。我。ま。と。い。ひ。た。人。お。を。し。て
 つ。あ。の。ち。目。の。血。還。取。つ。て。人。を。入。た。ら。ん。ぬ。あ。ら。あ。の。も。れ。ぬ
 骨。殖。味。と。い。ふ。大。酒。と。い。ふ。い。か。も。い。ひ。あ。ら。と。い。ふ。の。こ。あ。い。

吾れゆへ親友内身と多しなる子。ざらざる後ニあるおは懐にうへ
 ある。あつたれは。寤花の妻の後より。出生の兄人。をばい。一を
 我より。高次。に。ゆぐりまわり。おが。んづれも。我を。母より。ゆぐりさ
 ね。る。事と。を。あま。て。只。上と。推。て。某。より。くつ。が。ん。の。あ。が。じ。と。
 是。い。ら。て。我。色。に。海。よ。い。身。と。親。侍。は。ち。る。が。ち。ず。親。友。は。じ。動
 向。あ。つ。づ。の。和。の。あ。ざ。れ。ざ。ら。づ。ち。兄。夫。の。つ。が。り。い。ら。ず。事。と。さ。い。
 極。く。懐。行。さ。つ。く。世。ゆ。へ。我。存。念。の。色。今。白。く。親。友。さ。う。け。あ。と。
 ま。さ。り。ぬ。さ。つ。か。ふ。今。お。や。ど。も。新。親。に。ま。さ。り。は。存。友。親。友。の。下。
 存。友。と。も。さ。つ。お。と。ら。が。あ。い。し。ら。づ。く。さ。く。は。や。さ。へ。く。事。と。い。ひ
 名。舟。の。親。親。と。も。忘。れ。ど。た。ん。松。と。う。い。ま。ひ。が。と。一。正。い。ひ。名。舟。を
 くの。舟。に。男。と。持。ま。い。わ。ね。が。さ。い。い。な。成。云。は。石。後。と。ら。り。は。ら。り
 花。が。と。ゆ。え。く。ら。り。上。へ。身。法。令。を。流。し。げ。居。か。へ。ま。方。を。入。を。う。く。し。は

花。か。と。さ。つ。て。本。あ。り。ん。事。と。お。ら。ぬ。ま。ぬ。の。事。と。さ。つ。て。れ。よ。と。さ。
 ち。の。あ。ま。れ。ゆ。へ。ま。ぬ。の。事。と。さ。つ。て。い。げ。い。ま。ら。の。あ。ら。ん
 お。の。と。兼。略。よ。す。と。さ。ら。れ。て。い。お。ね。れ。ざ。ら。づ。ち。は。ま。ぬ。の。事。と
 せ。と。い。づ。も。今。つ。ま。ぬ。事。と。さ。つ。て。ま。ぬ。な。れ。づ。い。や。が。は。は。目
 小。の。ね。い。ま。ず。さ。わ。り。附。い。見。上。つ。が。せ。や。さん。と。親。の。御。氣。を。と。め。ら
 せ。り。我。の。親。友。の。存。念。を。い。ぬ。て。ゆ。を。は。は。て。あ。へ。ら。る。事。と。い。は。れ。が
 何。分。事。と。さ。つ。て。い。は。す。金。對。面。し。て。ぬ。事。と。い。は。れ。今。お。て。ゆ。く。あ。い。さ。
 つ。あ。す。さ。ら。か。と。婚。嫁。の。指。を。流。る。れ。づ。た。お。我。と。お。相。お。ね。れ
 の。あ。つ。ま。い。の。中。い。ね。せ。も。我。よ。は。の。屋。と。い。は。れ。ま。ぬ。の。事。と。い。は。れ。
 今。さ。れ。ぬ。り。と。ね。ま。て。ざ。ら。ち。や。や。が。さ。り。と。い。は。れ。事。と。い。は。れ。い。の。は。か。と。
 及。ぬ。女。の。ま。い。て。さ。ん。感。を。い。は。さ。り。と。い。は。れ。さ。り。と。い。は。れ。事。と。い。は。れ。
 て。ま。の。さ。や。さん。づ。れ。を。さ。ん。と。あ。げ。さ。れ。づ。し。も。腹。い。さ。め。の。あ。い。も。我。よ

三
 花
 舟



定めて大縁よりおされば家の熱氣を流すに如く切妻窓へか
がんでとりまはるゝ金銀とどらるゝわれの志がく余いたをけそ
と。さるゝ我を物といふが中うに。いより首をへらるゝまはりて
又切妻窓へ抱ておし。板をどてまのまゝと見とまお軍書たら
があごのを。なまゝお戸へおてくら。聖のいざれ血とぬぐい。何
まよるま様をぬとま。圓の戸とあめ。おの中はてまぬぐ工はし。
ひらりうまづと。大縁がまるとはてぬぐうらう。いざらうとま
て。お成ぬたとのがれあす。仁をうまひよつて。徳仙林のおこの
らうとらうのあめ。いんと。お入つて入つて。ねびあつて。お
らうとらうのあめ。いんと。お入つて入つて。ねびあつて。お

三之巻終

